

令和4年度 岐阜市障害者総合支援協議会 第7回専門部会 議事要旨

日 時	令和4年12月7日(水) 15:30～17:00
場 所	岐阜市役所6-1大会議室
出席者	関係団体 7名
	関係機関 10名
	一般・特定・障害児相談支援事業所 10名
	指定管理、委託事業所 7名
	(合計 34名)

○検討テーマ…緊急時・災害時に備えて

前回第6回専門部会において、障がい者の親亡き後を見据え、「岐阜市サポートブック」に記載すると良い内容について協議した。今回は、緊急時や災害時も見据えた必要な備えや、「岐阜市サポートブック」に記載すると良い内容について協議した。

1. はじめに

- ・岐阜市障害者総合支援協議会の概要
- ・第7回専門部会の趣旨や流れについて
- ・DVD 視聴

「災害から一人の命も取り残さないために 要配慮者の備えと避難行動」

(東映株式会社 教育映像部 企画・製作)

2. 岐阜市の防災対策について

岐阜市の防災対策等について説明

(岐阜市総合防災安心読本、避難行動要支援者名簿、個別避難計画、指定福祉避難所開設の流れ)

3. 岐阜市サポートブック forever について

岐阜市サポートブック forever (案) について説明

4. グループワーク

緊急時・災害時等を見据え、必要と思われる備えや、「岐阜市サポートブック forever」に追加して記載すべき内容について、5グループに分かれて協議。

<意見>

□緊急時・災害時等を見据え、必要と思われる備えについて

- ・できれば自宅で避難したいが、備蓄や、電源を確保できるかといった心配がある。
- ・難病の人は、個々の状況によって必要な支援の内容が大きく変わることもあるため、個別避難計画を早急に立てる必要がある。
- ・避難所でのスクリーニング後、福祉避難所への避難の必要性が判断される手順では、避難が間に合わないのではないか。
- ・避難所が遠いことは仕方ないが、障がい分野と高齢分野の支援者が日頃から連携することで、災害時のスムーズな支援につながるのではないか。

- ・避難についての勉強会や、避難訓練等で地域とつながっていけると良い。
- ・医療的ケアを必要とする人等の自宅での避難に備えて、支援の手段を充実させる必要がある。
- ・避難所で、医療的ケアを必要とする人が電源を確保できるかどうか、確実なことは言えず、今後の課題。
- ・福祉避難所に事前に登録できるかどうかについては、市が協定を結んでいるという対等な関係性であるため、事業所の意向次第である。日頃通っている事業所や病院等との関係性作りが大切。
- ・防災無線の内容が聞き取れなかった場合、ホームページ上の情報を確認するか、防災行政無線テレホンサービスを利用することで、内容を確認できる。

□「岐阜市サポートブック forever」に関する意見

- ・預貯金の情報は親亡き後を見据えた情報としては必要だが、災害時の情報としては必要ないので分けて考える必要がある。
- ・今後、岐阜市サポートブック forever を配布していく際は、関係者と協力して、広く周知されるような工夫を考える必要がある。
- ・項目が多いため、普及啓発の方法について考えていく必要がある。
- ・ページごとに記入日を記載できると、内容を更新する際に便利だと思う。
- ・障がいについて知らない支援者のことも考慮して、障がいの理解・啓発を深める内容もあると良い。
- ・緊急時や災害時に必要な備えについて、図や写真で示すとわかりやすい。

5. まとめ

- ・障がいのある人の災害時の避難について、避難所までの距離の遠さや避難所での電源の確保といった物理的な課題や、個別避難計画の未策定といった仕組み上の課題等がある。
- ・災害時に備えた事前の準備としては、日頃から地域や関係機関・団体等との関係作りに努めることのほか、個別避難計画や、岐阜市サポートブック forever の作成等により、必要な情報の集約や事前の想定をしておくことが必要である。
- ・岐阜市サポートブック forever については、記載内容や量、項目、普及方法等の課題が挙げられたため、引き続き協議を行い、災害時の備えとしても対応できるものを目指す。

6. 当日の様子



※以下、「岐阜市サポートブック forever」を「サポートブック」と記述。

①本日の専門部会について

良かった	… 50.0%
概ね良かった	… 43.8%
普通	… 6.2%
あまり良くなかった	… 0.0%
良くなかった	… 0.0%

②本日の専門部会について（複数回答可）

岐阜市の防災対策について理解が深められた	… 43.8%
緊急時・災害時の支援を考える機会になった	… 87.5%
サポートブックの活用について理解が深められた	… 37.5%
サポートブックを緊急時・災害時に活用できると感じた	… 25.0%
その他	… 6.3%

③本日の専門部会の内容で特に参考になったことについて

- ・災害時を考える機会が得られたこと
- ・多くの支援者が災害時の支援について悩んでいる現状
- ・障がい種別にごとの備えの必要性について
- ・避難訓練の重要性
- ・地域の人と協力し合う必要があること
- ・岐阜市総合防災安全読本が各世帯に配布されていること
- ・岐阜市における避難所開設の流れについて
- ・防災行政無線テレフォンサービスについて
- ・岐阜市内の福祉避難所の数
- ・福祉避難所の備蓄や電源確保等の現実的な状況

④もう少し取り上げたり、掘り下げてほしかった内容について

- ・サポートブックをどのようにして普及啓発するか
- ・サポートブックの認知度について
- ・当事者等特に困っている人の話
- ・福祉避難所について

⑤その他の意見について

- ・グループワークの時間がもっとあると良い。
- ・災害時、スムーズに情報収集できるように、サポートブックを上手く活用できると良い。
- ・災害時の具体的な避難の方法についてマニュアルとして知り、実際の動き方を地域の中で練習していけるようなシステムを構築してほしい。
- ・緊急時に必要な備えと、サポートブックについて分けて協議したかった。
- ・個別避難計画の作成をさらに推進してほしい。
- ・サポートブック配布後の更新も課題だと思う。
- ・要支援者の中に自閉症についての説明がなかった。
- ・特に重複する障がいのある人には公的な支援が必要。
- ・サポートブックへの記入量が多いため、内容をしぼると良い。